

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年08月13日

計画の名称	伊丹市における下水道未普及地域の普及促進													
計画の期間	平成29年度 ~ 平成29年度 (1年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	伊丹市													
計画の目標	下水道未普及地域の普及促進に努め、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		2	A	2	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)
1	下水道未普及地域の下水道整備率を、97.30%(H28)から97.31%に増加。 下水道整備計画面積に対して、下水道整備が完了している区域の面積割合。 下水道整備完了面積(ha) / 下水道整備計画面積(ha)	97%	%	97%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	H32	H33			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	伊丹市	直接	伊丹市	管渠(汚水)	新設	伊丹第6-2処理分区	汚水管渠 200mm L=100m	伊丹市						2	-	
											小計						2		
											合計						2		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 伊丹市上下水道局において評価を実施	事後評価の実施時期 平成30年度
	公表の方法 伊丹市上下水道局ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	伊丹第6-2処理分区の污水管きょ整備を推進した結果、污水計画区域における整備率が97.30%から97.31%に増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
持続的な下水道サービスを確保するため、老朽化が進行している管渠施設の対策について、防災・安全交付金事業を活用し効率的に進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	97%
	最終実績値	97%
		目標値と実績値に大きな差は生じていない。